

.....編集後記.....

◆今年、つくばは暖冬なのでしょうか、梅の花が咲くのが早いような気がします。皆さんの所ではどうでしょうか。日本列島は南北に長いので気候も一様ではないと思いますが、確実に山歩きの季節に近づいているようです。

◆最近の通信手段の進歩は驚くばかりです。ファクス、携帯電話、Eメールなど便利になったとは思いますが、そんなに忙しくしなくても良いのではないかと思います。人間ゆとりが必要ですよ。春になったらハンマー片手に近くの山に出かけて地球と対話してみたらどうでしょうか。

◆今月号は地質調査所発行の最新地質図の紹介記事を集めました。地球物理や海の底は見には行けませんが、陸上の地質については、この地質ニュースを参考にして歩いて見られたらどうでしょうか。新しい発見があるかもしれません。

◆最近には新発見が続出しているように思います。考古学では多くの遺跡が見つかり、縄文時代についての新しい考え方が生まれたようですし、地質学では恐竜の足跡や骨など動物の生存痕跡が発見され、地質時代の日本列島はにぎやかだったようで

す。海にも鯨類がたくさんいた時代があったことが大石氏の紹介記事からわかります。私も高知県の室戸の近くで鯨と思われる化石を採取したことがありますが、素人なので上手に取り出すことができませんでした。もし、幸運にも骨の化石を発見されたら、学術的に大変貴重なものですので専門家に連絡することが無難かと思えます。

◆三井三池炭鉱が閉山されるとのことです。日本では地下資源という言葉がだんだん忘れられていくようですが、地下資源は有限なものであるという認識は忘れたくないものです。今月号から須藤氏によるタイ国の鉱物資源の解説が始まりました。わが国は鉱物資源を輸入に依存していますが、外国がいつまでも売ってくれるとは限りません。須藤氏の記事で、珪砂の開発は難しくなってきたとありますが、現在では輸出は禁止されているとのこと。わが国は資源確保のための戦略を立てることが必要ですが、そのためには今こそ地下資源の専門家が必要でしょう。

◆日本の地熱発電所シリーズが終わりました。まとめて出版できるといいのですが、

(有田正史)

地質ニュース編集委員会

委員長：有田正史

副委員長：石井武政

委員：佐藤興平・今井 登・村上文敏・大熊茂雄

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係(山崎 浩・谷田部信郎)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3504

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第511号	1997年	3月号
	定価	¥770	〒実費
1997年3月1日	発行		
編集	工業技術院地質調査所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者	林 光生	
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8		
	Tel. (03)3265-0951(代表) 〒102		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	株式会社 ケイ・トゥー・ワン		

©1997 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。